

JA 神奈川県厚生連相模原協同病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	食形態変更による嚥下機能への影響
当院の研究責任者(所属)	甘利 卓也 (相模原協同病院 リハビリテーション室)
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	入院された方々の中には、嚥下機能は保持されているにも関わらず、意識障害や内臓疾患等の影響により、嚥下能力に見合っていない食形態（嚥下調整食）が提供されることがある。嚥下調整食の食形態は、飲み込みやすさや誤嚥のしにくさを重視したものであり、嚥下機能が低下している方を対象とするため、咀嚼力や嚥下能力に負荷がかかりにくいものである。そのため、本来の患者の嚥下機能に見合っていない食形態が提供された場合、嚥下機能が低下する可能性がある。これまで、食形態の変化による嚥下機能への影響に関する報告は少ない。今回、疾患や意識障害などの影響で入院後に、より咀嚼力や嚥下能力に負荷がかかりにくい食形態に変更された患者と、食形態の変更の必要がなく入院前と同様の食形態が提供された患者を対象に、食形態の変化が嚥下機能に影響を及ぼすのか、またその要因を明らかにすることを目的に研究を行う。
調査データ 該当期間	2025 年 7 月 1 日～2026 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に当院にてご入院中にリハビリテーションを実施された方 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。また入院前の生活状況に関して調査を実施する場合があります。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

お問い合わせ先	電話：042-761-6020（代表） 担当者：甘利 卓也(相模原協同病院 リハビリテーション室)
備考	調査の対象となることに同意をされない場合でも不利益はありません。